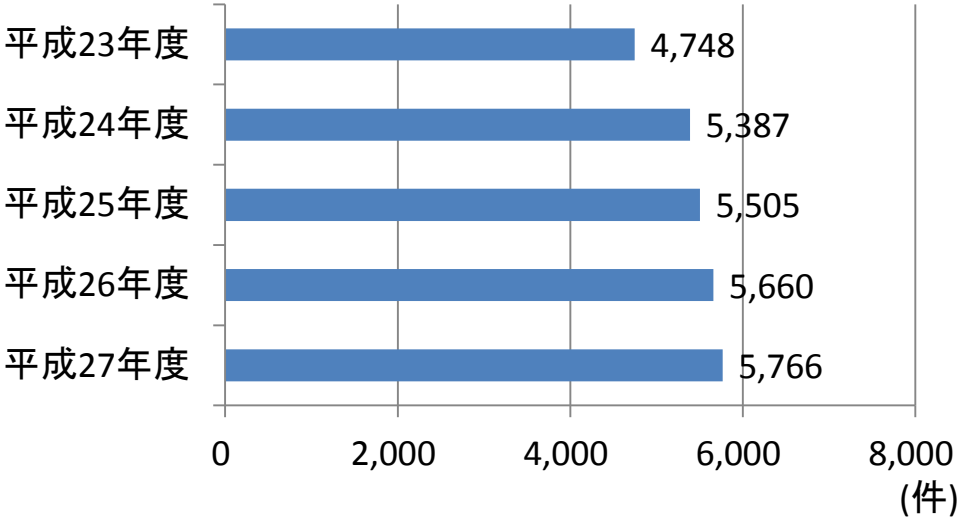


11 手術全身麻酔件数

解説	局所麻酔と全身麻酔では、手術件数としては同じですが、麻酔にかかわるスタッフへの負担が大きく異なります。 麻酔には手術部位の痛みを感じさせなくする局所麻酔と、患者を呼吸管理のもと無意識にして痛みを感じさせなくする全身麻酔があります。全身麻酔では、局所麻酔に比べて麻酔医や手術看護師などの負担は大きくなるので、その件数は手術部門の業務量を反映する指標となります。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>4,748</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>5,387</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>5,505</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>5,660</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>5,766</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	平成23年度	4,748	平成24年度	5,387	平成25年度	5,505	平成26年度	5,660	平成27年度	5,766
年度	件数												
平成23年度	4,748												
平成24年度	5,387												
平成25年度	5,505												
平成26年度	5,660												
平成27年度	5,766												
定義	手術室における手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。 平成23年度から、算出方法をレセプト算定ベースに切り替え、平成21・22年度の数値は、半年分の実績を2倍して年間の推計値として表示します。 小児の画像診断等でも全身麻酔が使用される場合がありますが、ここでは手術に限定します。体位等により、一手術中に複数の「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」が算定されますが、一連の麻酔で1件とします。												